進路講演会

森下雄一郎さん

平成24年度進路講演会は、ベネッセコーポレーションの谷本祐一郎さん（1・3年生）と森下雄一郎さん（2年生）に講演をして頂きました。
1年生は、『進学を取り巻く現実について』、2年生は『2年生2学期の重要性～後悔なき航海へ　その羅針盤～』、3年生は『今なすべきこと』と題してお話しされました。
日時や会場はそれぞれ違いましたが、多くの保護者の方も参加され、進路実現に向けた話を家庭でする機会になったことと思います。

グループに分かれて面接指導

職業別講演会

進路講演会に参加して

1年2組　下田　南

私は今まで、部活を言い訳にして十分な勉強をしていませんでした。復習や理解はテスト前にため込んで、日々の努力を怠っていました。しかし講演を聞いて、今文武両道に取り組む姿が、社会人になった時の自分の姿に反映されることに気づき、立派に両立させたいと思いました。

私はまだなりたい職業も行きたい大学も決まっていません。しかし今、勉強の習慣を定着させ、良い成績を残すことができたら、目標が見定まったときに自分自身を助けてくれるということを改めて知りました。

私は文理選択をしたことで、未来は自分で掴むものだと再確認しました。今回の講演を通して、自分が進むべき方向性を示唆していただきました。望んだ未来を手にするには、多少の挫折や困難はあると思いますが、どんな時でもなりたい自分の姿を思い浮かべて、それに相当する努力を積めるような人間になりたいです。

1年学年委員長　富﨑ますみ

冒頭の谷本さんの質問は、耳の痛いことばかりでしたが、日常の家庭生活を見直すきっかけとなりました。谷本さんは、自分の体験されたことを交えながら、進学と就職との関係や将来必要となる力など、具体的に話されました。決して成功例とは思えない体験を赤裸々に語られ、高校時代にすべきことを説得力のある言葉で分かりやすく伝えられ、大変勉強になりました。親としては経済的な問題も重要ですが、まず我が子に望むのは、自分の夢（やりたい仕事）が叶うように努力し、進学してほしいということです。今の高校生は、講演会などで進路や将来を考える機会を与えていただいて幸せです。講師の谷本さんや先生方に感謝したいと思います。

2年4組　金子　佳樹

今回の講演は、模試で思うような結果がでなくて、いろいろ諦めかけていた部分を見直す機会となりました。しかし、今からでも距離は縮められるし、まだ遅くないこともわかったので、覚悟を決めて頑張っていきたいと思いました。今までは、重要かつ緊急なものにしか時間を費やしていなかったなと感じました。今日からは、重要なものには全てに時間を費やしていきたいと思います。また、日々の習慣を良いものにしていきたいとも思いました。宣誓書みたいですが、本当に頑張ればまだいけるんだという希望が見えた講演会でした。この講演会が自分の夢を叶えるきっかけとなったと言えるように頑張ります。

2年学年委員長　松下　偉敏

10月5日に第2学年進路講演会及び科目選択説明会が天草市民センターで開催されました。進路講演会ではベネッセコーポレーションの森下雄一郎氏から「2年生2学期の重要性について」～後悔なき航海へ　その羅針盤～という演題で講演をいただきました。

合格率は、受験へのスタート時期に大きく関係し、2年生の2学期からすれば85％、3学期からは65％、そしてみんなが始める高校総体明けの3年1学期からは37％と大きく低下するとのことでした。そのためには、今の生活の何かを変えて、続けることが大事だということを講師の体験を織り交ぜながら具体的にわかりやすく話してくださいました。ちなみに講師の先生は、①テレビ、②アルバイト、③恋愛（恋人）を制限されたそうです。

私たち保護者にもわかりやすかったので、生徒たちも理解はしてくれたものと思っています。が、実際にその重要性を認識し、即実行につなげてくれる生徒はほんの一握りの生徒ではないかと思います。私たち大人でさえ、切羽詰まらなければ行動しません。部活動、生徒会、学校生活等々忙しい生徒たちも同じです。でも、1年半後に笑うか泣くかを大きく左右する今の時期の大切さをもう一度家族で話し合い、実践していただきたいと思います。

進路講演会とその夜の懇親会にはたくさん参加していただき、ありがとうございました。

次回は保護者だけの学習会を開催することにしています。

3年学年委員長　島田　豊

今回3分科会で実施されました。公務員希望では直前の勉強方法を具体的に指導され、専門学校、短大、就職希望では学校選びのポイントと面接実践講座がありました。四年制大学、医療系専門学校では、現役合格を目指して（今なすべきこと）で講演され、早期志望校決定の大切さ、そして半数の人が成績が伸びるまで五か月近くかかるそうで、第一希望をすぐに諦めないことが重要になってくること。また専門学校は現役で国家試験に合格し易い所を選択する、等お話し戴きました。

他の講演でも、人はいずれ職に就くのだから早い時期に人生設計を行ない準備することが大切だと言われました。この事はすべてに共通する事だと感じました。

子どもたちの希望が達成される事を祈りたいと思います。

職業別講演会に参加して

受講講座　保育

1年1組　森　瑞季

講演を聞き、保育士は喜怒哀楽に富んだ生活ができる一方、人生の土台となる時期を支えるので、命に関わることもあるということが分かりました。子ども一人ひとりの気持ちをしっかり受け止め、子どもだから感情はない、という考えを持たずに子どもの意見に共感し丁寧に優しく言葉かけをすることが必要です。

保育士は0歳から小学校入学までの子どもの成長を、とても身近にみることができます。もし、私が保育士になったら、親が仕事で忙しく、親と触れ合うことが少ない子どもたちに、たくさんの愛情を注ぎ、「ありがとう」「ごめんなさい」など言葉の使い方を学ばせてあげたいです。講演を聞き、保育士のやりがいを強く感じることができました。

天高総合大学

8月31日、本校に直接大学の先生を招聘し、講義をして頂きました。生徒たちは、普段聞くことのできない内容に、メモを取りながら真剣に聞きいっていました。（今回は、熊本大学、熊本県立大学、九州大学をはじめ12の大学に参加していただきました。）

1年3組　松岡　香織

私がとても印象に残っているのは、看護師は日常生活のプロであるということです。患者さんの近くにいる人だからこそ、看護師にしかできないことがたくさんあるように思いました。また、前向きに生きるためのヒントの中の「幸せな感覚を持って、思考・行動する」、「否定的な感情を持たない」ということが今の自分に足りないと思いました。今回の講義は、これからの自分にとって大切なことを学ぶ良い機会になりました。

2年5組　鶴田　聖南

今日は熊本保健科学大学の鏑木先生の講義を聞いて、リハビリテーションについて今まで以上に深く考え、学ぶことができました。

理学療法は、身体に障がいのある方に対し主としてその基本動作の回復を図るため、治療体操、その他の体操を行い、また電気刺激、マッサージ・温熱・その他の物理的手技を加えることだと学びました。理学療法を必要とされている方々のために精一杯頑張り、役に立てるよう努力する仕事だと聞き、人のためになる仕事というのは改めて素晴らしいものなんだなと感じました。電気刺激やストレッチの仕方なども生で見ることができて良かったです。

私も人のためになる仕事に就けるように頑張っていきたいと思いました。

東京大学視察

8月20、21日の両日、東大視察研修があり、本校から2人が参加しました。これは、日本の将来を担う理工系技術者の育成を目的として、理科教育の最先端技術等に興味を持つ高校生を東京大学へ派遣するもので、県内の高校から40名ほどの参加がありました。

2年4組　松下　馨介

私は東京大学視察研修に参加し、東大の教授の方々の講演を聞いたり、東大生の方々と話をしたり、また他校の生徒と交流したりするなど、貴重な体験をすることができました。

この研修で、もっとも印象に残っているのは、学生の方々が自分の興味のあることを楽しく研究し、大学生活が非常に充実しているとおっしゃっていたことです。この研修で、なぜ自分が高校で頑張っているのかということが少しわかったように思います。高校でしっかり勉強して、実りある大学生活を送りたいです。

2年6組　野下　創史

今回の研修では様々な方の話を聞くことができました。特に、東京大学大学院生と実際に会話を交わしたことで東京大学の学生は自分たちとは住む世界が違う雲の上のような存在であるという先入観は誤っていることに気づきました。この先入観を取り払えたことで東京大学合格はどれだけ頑張っても届かないような目標ではないと実感しました。これからは、今回の経験を生かして、より高い目標を見据えて精一杯勉強に励みたいと思います。